

TSUNAGO Q&A

多くのユーザー様から頂いたコツとポイントをまとめております。

Q1 1の穴で鉛筆に穴を開けるのに時間がかかります。

A あまり力を入れずに鉛筆を回転させているのではありませんか？
握力の弱い方や小学生以下のお子様は一人で穴開け作業は難しいかもしれません。
お子様は必ず保護者の方と一緒に作業してください。

①最初は力を入れて押し込み気味に穴を開けてみてください。(指が痛くならない程度でお願いします。
指の痛み対策はQ7を参照ください。)

鉛筆が割れるかもしれませんが、まずは1本～3本ぐらい練習してみてください。
力を入れ加減を調節しながら、割らずに穴が開くご自分の適切な力加減を見つけてください。

②キリ穴での削りカスは随時排出窓より排出してください。【図1】

削りカスがキリと鉛筆の隙間に多く存在すると、邪魔をして穴が開きにくくなります。

4回ほどに分けながら鉛筆を削ってみてください。削れている感触がなくなったときは5mmほど鉛筆を持ち上げてキリと鉛筆の間に詰まったカスを排出窓から出す必要があります。
鉛筆を軽く逆回転させてカスを底にため、排出窓より底蓋内に排出してください。



③穴開けの感覚をつかんでいただいたら、TSUNAGOを順手、鉛筆を逆手で持ち、雑巾を絞るように軽く押し込みながら作業をしてください。【図2】

穴開けに関しましては個人差がありますのでご了承ください。



Q2 鉛筆の穴開けの時に穴がセンターよりずれてしまいます。

A 1の穴に挿入する時の鉛筆と穴のサイズのズレが大きければ大きいほど、鉛筆の中心からズれてしまいます。
鉛筆のサイズが穴にピッタリ合えば、しっかり中心に穴が開きます。

①TSUNAGOを机上に垂直に置き、鉛筆を1の穴に挿入します。【図3】

②鉛筆を軽く回転させて鉛筆の中心に当たりがきているか確認します。
(当たりがずれていれば再度トライします。)

③中心付近に当たりがきていれば、①の状態のまま穴開けを開始します。
その都度確認しながら少しずつ開けていきます。

④ある程度削り進め、センター付近で穴開けができているのであれば、
やりやすい持ち方で作業を続けてください。



Q3 2の穴で鉛筆を凸に削る時に鉛筆の折れた芯が詰まります。

【図4】

A クリアースモークの底蓋を TSUNAGO 本体からとりはずし、【Q5 参照】爪楊枝で芯を取り除きます。【図4】

この時、ボールペンやシャーペン先等の金属製の物は絶対に使用しないでください。刃が欠けることにより、削れなくなります。

また、怪我をする恐れがありますので指等で芯を取り除くことは絶対にしないでください。



Q4 それぞれ凸と凹に削った鉛筆を接合するのですが接合部分に段差ができます。【図5】

【図5】

A 凸の削れ位置が不十分です。2の穴で削る時、最初の方でキュルキュルと音がある場合があります。その際は軽く押し込み気味に削り、音が無くなれば普通に削ってください。それ以降も押し込み気味に削ると芯が折れやすくなります。ご注意ください。削りの刃が見えているところから削りカスがでるまで鉛筆を削ってください。尚、削れストッパーがついておりませんので、いくらでも削れてしまいます。確認しながら削るようお願いします。



Q5 削りカスを TSUNAGO から取り出せません。

【図6】

A TSUNAGO の上部とクリアースモークの底蓋を手に持ち【図6】上部を反時計回りに廻すと分解できます。



Q6 TSUNAGO に使えない鉛筆はありますか？

A TSUNAGO の穴に入らない鉛筆

- 芯径が3mm以上
- 芯の軟らかい鉛筆、色鉛筆、化粧用鉛筆
- 鉛筆のおしりに、消しゴムや樹脂、金具が使用されているもの。

TSUNAGO の穴に入れる事ができる、鉛筆が丸、三角、四角、五角形等で、3mm 径以下の芯であれば利用することは可能です。

但し全ての鉛筆の試験はしておりませんので上記以外に不適合の鉛筆が存在しますことをご理解ください。

Q7 鉛筆に穴を開けるときに、鉛筆が短いので使いにくいです。

【図7】

A 鉛筆用補助軸を利用するのもアイデアです。鉛筆の芯先から手の保護にもなります。輪ゴム等を鉛筆に巻き、滑りとめやクッションとして活用してみてください。【図7】

Q8 作業中に手が真っ黒になってしまいます。

A 鉛筆の黒芯を削りますので、どうしても汚れやすくなってしまいます。家庭用ゴム手袋を装着し作業することをおすすめします。【図7】

